

SDGsと当社活動

2024年4月28日

当事業業共通項目

ゴール	ターゲット	当社の活動	
12 つくる責任 つかう責任 	12つくる責任、 つかう責任	12.5 2030年までに、予防、削減、リサイクル、および再利用（リユース）により廃棄物の排出量を大幅に削減する。	木くずリサイクル率の向上
13 気候変動に 具体的な対策を 	13.気候変動に具体的な対策を	13.3 気候変動の緩和、適応、影響軽減、および早期5告に関する数百啓発、人的能力および制度機能を改善する。	フラフ燃料（石炭比 環境負荷の低減）植林活動
7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	7.エネルギーをみんなに そしてクリーンに	7.1 2030年までに安価かつ信頼できる現代的エネルギーサービスへの普遍的アクセスを確保する 7.2 2030年までに世界のエネルギーミックスにおける再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大させる。	チップ燃料の製造 再生可能エネルギー
11 住み続けられる まちづくりを 	11.住み続けられる まちづくりを	11.6 2030年までに、大気質、自治体などによる廃棄物管理への特別な配慮などを通じて、都市部の一人当たり環境影響を軽減する。	廃棄物の適正処理
17 パートナーシップで 目標を達成しよう 	17.パートナーシップで目標を達成しよう	17.17 さまざまなパートナーシップの経験や資源戦略を基にした、効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する。	横浜市、セブ市、業界団体等との連携

SDGsと当社活動

2024年4月28日

海外事業展開

ゴール	ターゲット	当社の活動
 8.働きがいも経済成長も	8.5 2030年までに、若者や障害者を含むすべての男性および女性の、完全かつ生産的な雇用およびディーセント・ワーク、ならびに同一労働同一賃金を達成する	セブにて、普及実証時のウエストピッカーの雇用機会の提供。フィリピン支店でも、現地ワーカーを完全雇用。
 9.産業と技術革新の基盤をつくろう	9.A アフリカ諸国、後発開発途上国、内陸開発途上国および小島嶼開発途上国への金融・テクノロジー・技術的支援の強化を通じて、開発途上国における持続かつレジリエントなインフラ開発を促進。	発展途上回地域での、適正処理に係る技術支援・協力
 14.海の豊かさを守ろう	14.1 2025年までに、陸上活動による海洋堆積物や富栄養化をはじめ、あらゆる種類の海洋汚染を防止し、大幅に減少させる。	途上国では、低品質プラスチックは埋立・不法投棄の対象だが、リサイクル技術を伝えることで、意識の変化を起こし、海洋プラの流出を予防。

CSR活動

ゴール	ターゲット	当社の活動
 3.すべての人に健康と福祉を	3.8すべての人々に対する財政保障、質の高い基礎的なヘルスケア・サービスへのアクセスおよび安全で効果的、かつ質が高く安価な必須医薬品とワクチンアクセス提供を含むユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)を達成する。	ペットボトルキャップを売却した対価を世界の子もたちにワクチンを送る活動
 15.陸の豊かさを守ろう	15.2 2020年までに、あらゆる種類の森林の持続可能な管理の実施を促進し、森林破壊を阻止し、劣化した森林を回復し、世界全体で植林と森林再生を大幅に増加させる。	排出事業者から搬入された廃棄物の量に応じて植林を実施。カーボンオフセット